



令和7年3月13日

川口市保健所

麻疹（はしか）患者が発生しました

令和7年3月13日、市内医療機関から、川口市保健所に麻疹患者の届出（臨床診断）があり、川口市保健所衛生検査課の検査により麻疹と確定しました。

現在、川口市保健所では当該患者の行動や接触者の調査を実施しており、現時点で不特定多数の接触者につながる行動歴は確認されていません。

1 患者の概要 川口市在住、0歳、女兒、麻疹予防接種歴なし

2 海外渡航歴 あり（ベトナム）

3 症 状 発熱、咳、発疹

4 経 過 等

3月 8日 発熱

3月 9日 咳出現

3月10日 発疹出現し、市内医療機関Aを受診。

3月12日 症状改善せず、再度市内医療機関Aを受診。市内医療機関Bに紹介受診。

3月13日 市内医療機関Bより川口市保健所に麻疹発生届（臨床診断）

川口市保健所衛生検査課における遺伝子検査の結果、陽性が判明した。

5 麻疹（はしか）とは

原 因：麻疹ウイルス

潜伏期間：10～12日間

症 状：感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現する。

治 療：特異的な治療方法はなく、対症療法

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われている。

感染症法：五類感染症、全数把握疾患（診断を行った医師は保健所に届け出ることになっている）

予防方法：ワクチン接種

6 注意喚起

現在、麻しんは東南アジアやアフリカなどで流行しており、帰国後に麻しんと診断された報告例も増えています。流行地へ渡航を計画している方は、り患歴や予防接種歴を確認し、抗体検査や予防接種を受けることを検討してください。

旅行地域から帰国後、体調不良がある場合には速やかに医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。

- ①海外渡航前は、渡航先でどんな感染症が流行しているか確認する。
- ②海外渡航前は、自身が麻しんに感染したことがあるか、予防接種を受けたことがあるか確認する。
- ③海外渡航後に体調不良になった場合は、医療機関に「いつ、どこへ渡航し、どんな症状が出ているか」を伝えたくて受診する。

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いいたします。